

一般社団法人 日本応用地質学会
令和6年度・2024 年度
第3回国際委員会・IAEG JAPAN 運営委員会 議事録

日 時 : 2024 年 9 月 9 日(月) 15:00~17:30

場 所 : 日本応用地質学会 事務局、Zoom を用いた Web 会議(併用)

出席者 : 長谷川委員長、菊地副委員長、加地委員、崎田委員、野々村委員、水野委員、山田幹事

委任状提出: 越谷委員、昆委員、徳楠委員、濱田委員、百嶋委員、百瀬委員、安田委員、山崎委員

陪席: 茶石顧問

議事:

1. 前回議事録(案)の確認

- ・前回(2024 年 7 月)に開催した委員会の議事録(案)を了承した。
- ・ARC14 報告レポートの内容を精査した上で(例: 図 7_VP(WEG)、図 9_VP(YEG))、HP 等に掲載する。

2. 理事会報告

- ・令和 6 年度第 5 回理事会の内容について報告がなされた。

3. IAEG JAPAN 運営委員会活動について

(1) IAEG 事務連絡

1) IAEG Newsletter 2024 No.2 関連

- ・2024 No.2 の発行内容について説明がなされた。
- ・2024 No.3 の投稿へ向けて、引き続き素材(Ranjan 氏講演、研究発表会など)の収集準備を進める。合わせて、2024 No.3 の入稿期限についても事前に事務局へ確認しておく。

2) YEG 関連

- ・YEG に関する IAEG 事務局からの連絡事項について説明がなされた。
- ・本件に関するメールの送信先に YEG 担当委員を加えてもらうよう事務局へ依頼する。

3) AEG(Association of Environment & Engineering Geologists)

- ・作成済みのポスターとパンフレットについて確認した。今後のことを見据えて、関連データ一式をJSEGサーバ内で共有できるよう手配する。
- ・JSEG ポスターについては、ARC15(2025、バングラデシュ)で掲示できるよう調整を進める。

4) 2024 研究発表会 特別セッション

- ・招待講演者の謝金について、次回理事会で 5 千円なら対応可能かを再度確認する。
- ・招待講演予定者のうち、マレーシア枠は 9/15 まで回答を待った上で、返答が無ければ発表予定を取り下げる。

5) ARC15 (2025) 関連

- ・先方からの要望(日本でセッション企画)について、担当委員のテーマ案を採用することとし、理事会に諮った上で、Japan NG 代表から先方へ返信して頂く。
- ・日本がセッション担当となった場合には、バングラデシュ国内の治安回復が条件となるが、発表者に加えてある程度の人数の参加者動員が必要となる。

6) ARC16 (2027) 関連

- ・現時点での検討状況について説明がなされた。
- ・IAEG からの要請へ対応しておく必要がある。(事前に Wu 氏かアジア地区 VP へ連絡を入れた上で、10 月

の Council Meeting (クロアチア) で簡単なプレゼンを行い、理事会承認を得る必要あり)

- Japan NG の基本スタンスとして、現時点では場所やテーマも決まっていないため、クロアチアでは非公式なプロポーザルとして意思表示をしておき(前宣伝の意味も含めて)、来年の Council Meeting (アフリカ?) で正式な文書提出&プレゼンを行う手順とする。
- そのため、今回準備する書面はA4で1枚程度の簡略なものとし、内容について事前に理事会・会長の了解を得た上で、代表のサイン入りで事務局と Ranjan 氏へ提出する。
- クロアチアでのプレゼン機会に備えて、簡単なPPT(数枚程度)を準備した上で、事前に代表とも共有しておく。

7) 日韓台3か国セッション(目標:第2回の 2025 年開催に向けて)

- 10月の拡大総務委員会において来年の研究発表会に絡めた開催を提案できるよう、9月中にコアメンバーで開催素案(工程、支部との役割分担)を検討する。
- 中国との関係性も十分配慮した上での活動とすることが望ましいため、今回は「東アジア地域の若手技術者交流会」という位置付けにして、YEGとしての活動も兼ねる方向で進める。

(2) その他

1) Ranjan 先生 ウェビナー 関連

- 開催結果について説明がなされた。速やかに CPD 受講証明の発行手続きを行う。

2) IAEG 戦略声明について

- 翻訳案の内容を各委員にて確認し、意見がある場合は 9/15 までに委員長へ連絡する。
- 翻訳案の確定後、学会 HP に掲載されている IAEG 戦略声明を更新する。

3) IAEG 規則(Statute)&細則(Bylaw) について

- 当該資料について茶石顧問より説明がなされた。今回のアジア・南米両地区での VP 交代事案 (IAEG Newsletter P20 参照) もあったことから、改めて各委員にて内容を確認しておくことが望ましい。

4) 学会誌 Bulletin 紹介

- 2月号の掲載に向けて、改めて担当委員に対応を要請しておく。

5) 海外シンポジウム

- 現在、学会 HP に掲載中の情報について説明がなされた。適宜内容を最新情報に更新した上で、JSEG_HP のトップページ及び学会 NL での周知を手配する。

4. ホームページ関係

(1) JSEG 英語版 HP

- 各委員へのアンケート結果について説明がなされた。
- HP のリニューアル担当として、数名の担当を選任する。
- 各種イベントに参加する委員の中で担当を決めて、Facebook への速やかな情報掲載を行う。
- 今後は、数年単位で主担当をローテーションして行くことが望ましい。

(2) JSEG 日本語版 HP

- 適宜、掲示情報の更新を行う。

(3) 学会 Facebook

- 適宜、掲示情報の更新を行う。

5. その他

- 次回理事会において、国際委員会の新メンバー選任を承認してもらう予定。
- 次回委員会(令和6年度_第4回)は、令和6年10月に香川(研究発表会の初日夜)で開催する方向で調整する。